

News & Information

News ①

学園所蔵 森鷗外『舞姫』直筆原稿が  
大阪樟蔭女子大学所蔵『文づかひ』と  
ともに一般公開されました！

2016年8月1日(月)～9月11日

(日)の間、学園で保存している森鷗外『舞姫』の直筆原稿が、文京区立森鷗外記念館のコレクション展「舞姫―恋する

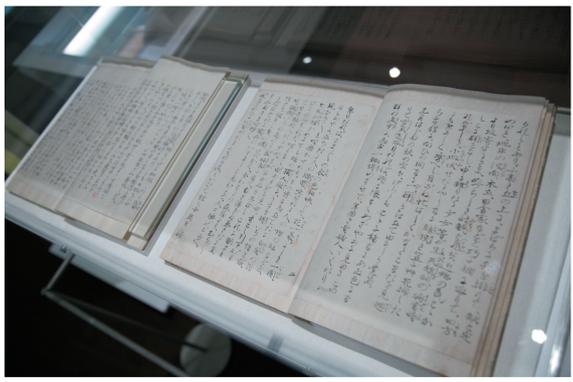
近代文学」で一般公開されました。同展覧会では、大阪樟蔭女子大学所蔵の『文づかひ』も展示。『うたかたの記』とともに、鷗外のドイツ三部作として知られる2作品の草稿がそろって展示される貴重な機会となりました。

公開初日には、特別内覧会を開催。所

蔵者として、本学から山田徹雄学長、大阪樟蔭女子大学から北尾悟学長が出席。

鷗外研究の第一人者として、本学の山崎一穎理事長が展示資料の解説を行いました。「草稿には鷗外の気持ちの高ぶりや迷いが滲んでいます。活字ではわからない、創作の過程に触れてください」。

学園では今後も一般公開の機会を設け、学術的な貢献に活かしていきます。



『舞姫』から  
近代文学を繙く！

(上)『舞姫』と『文づかひ』、  
2作品の直筆原稿が公開されるのはこれが初めて。  
(中) 専門分野への質問に  
雄弁に答える山崎理事長。  
(左) 展示期間中、多くの  
文学ファンが訪れました。



News ②

今年度も  
「朗読コンテスト」が  
開催されました！

10月30日(日)、本学にて、文京区主催、跡

見学園女子大学主管の「朗読コンテスト」がNHK放送研修センター協力のもと開催されました。今回で5回目となる本コンテストは、回を追うごとに応募人数が増えています。当日は、北海道から沖縄まで292名の応募者から選ばれた青少年の部の6名と一般の部の10名が、生誕120年を迎えた宮沢賢治の作品を朗読しました。どの方も情感豊かに、素晴らしい朗読を披露してくれました。



(上) 本選出場者、審査員らで記念撮影。前列着席左端が青少年の部最優秀賞の木村心優さん、右端が一般の部最優秀賞の小堀望さん。  
(左) 最優秀賞受賞者による記念朗読の様子。木村さんは『銀河鉄道の夜』を朗読しました。